

厚木市人口ビジョンの改訂に係る基本的な考え方について

1 改訂の必要性

令和 3 (2021) 年 3 月に改訂した、厚木市人口ビジョン(以下、「人口ビジョン」)は、まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下、「総合戦略」)の改訂や国勢調査の実施に合わせて、おおむね 5 年ごとに見直すこととしています。

現在、令和 8 年度を始期とする第 11 次厚木市総合計画策定に併せ、総合戦略の改訂を予定しており、総合戦略に位置付ける施策を企画立案するための基礎資料として、令和 2 年の国勢調査結果等の最新の統計データなどを踏まえ、これまでの人口動向を分析し、人口推計や将来展望の時点修正等による人口ビジョンの改訂をするものです。

2 改訂の概要

	現行人口ビジョン	改訂人口ビジョン
策定年月	令和 3 (2021) 年 3 月	令和 7 (2025) 年 11 月
対象期間	令和 47 (2065) 年まで	令和 52 (2070) 年まで
根拠	平成 27 (2015) 年国勢調査を基にした 平成 30 (2018) 年社人研推計準拠	令和 2 (2020) 年国勢調査を基にした 令和 5 (2023) 年社人研推計準拠
構成	1 策定概要 2 人口の現状分析(自然・社会動態の推移等) 3 将来展望(シミュレーション等) 4 社会経済の動向分析(昼夜間人口比率、産業動向、都市構造の状況等) 5 市民意識(満足度・意識調査、人口移動アンケート結果分析)	現行人口ビジョンと同様 ※厚木市推計・将来展望の時点修正 ※地区別の人口推計の時点修正 ※雇用形態(正規・非正規等)の整理、分析を追加 ※老年人口の死亡者数の今後の推計や本市に与える影響を追加 ※外国人人口の急増に伴う本市への影響分析を追加 ※その他必要な時点修正

3 厚木市推計・将来展望について

(1) 厚木市推計

厚木市推計とは、令和 2 (2020) 年の国勢調査の結果に基づく、令和 5 (2023) 年の国立社会保障・人口問題研究所推計準拠（以下「社人研推計準拠」という。）の推計における令和 7 (2025) 年の推計値を、令和 7 (2025) 年 1 月 1 日現在の実績値に置き換えて、本市独自の推計（以下「厚木市推計」という。）を行ったものであり、どの程度まで人口が減少するかを示すものです。

(2) 将来展望

将来展望とは、本市が取り組む施策の効果を見込んだ場合の将来人口の推計であり、本市が目指すべき目標人口を示すものです。

本市では、自然増減については、合計特殊出生率の仮定値を、社会増減については、世代別の移動率の仮定値を用いて推計を行います。

4 将来展望の推計に当たって検討すべき事項

(1) 自然・社会増減の仮定値

自然・社会増減の仮定値は、現行の総合戦略の効果検証を踏まえ、第 3 期総合戦略に掲げる目標や施策の方向性との整合性を図り、設定する必要があります。

(2) 地区別人口推計

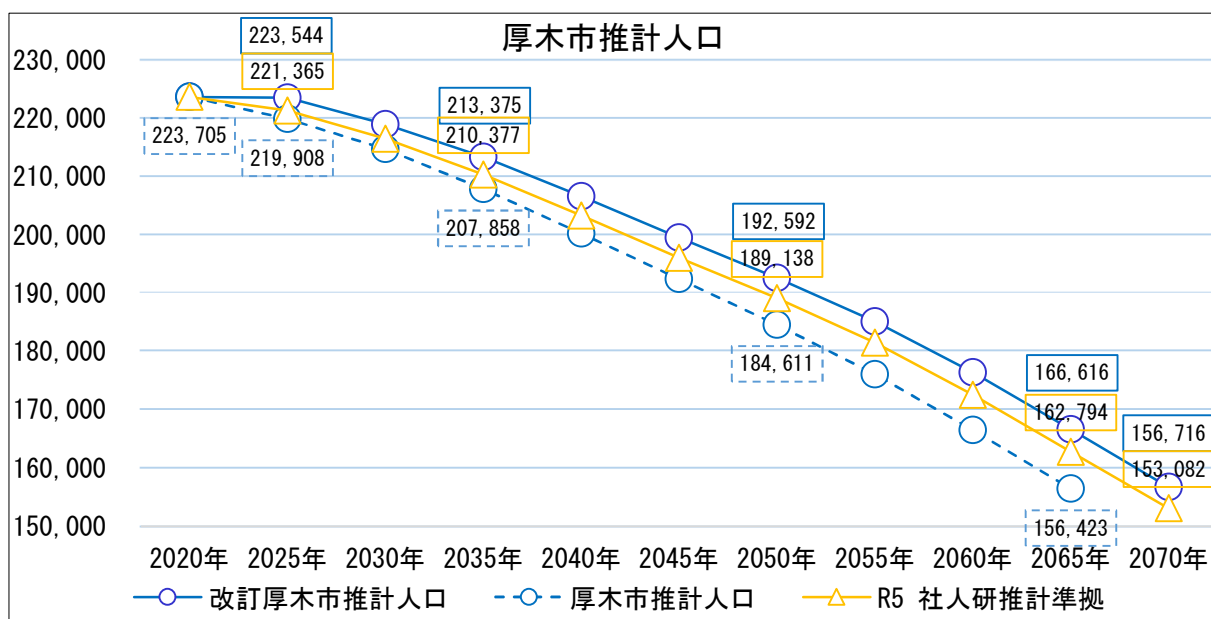
地区別の特色に応じた施策の方向を定める一助として、将来展望に基づき、自治会区域を基本に分類した 15 地区ごとの人口推計を行います。なお、人口総数と比較して地区別の人口は小さいため、推計期間が長くなるほど推計の精度が落ちてしまうことを勘案し、令和 27 (2045) 年までを推計期間とします。

5 改訂厚木市推計及びシミュレーションについて

(1) 改訂厚木市推計について

今回の厚木市推計では、当初の厚木市推計と比べて人口減少が緩やかになっており、令和 47 (2065) 年時点では、当初の 156,423 人よりも約 10,200 人多い 166,616 人となり、令和 52 (2070) 年時点では 156,716 人となることが見込まれます。

当初の厚木市推計よりも人口減少が緩やかになっている要因として、社人研推計準拠が根拠としている国勢調査結果において、平成 27 (2015) 年よりも令和 2 (2020) 年の方が、社会動態が増加傾向にあることが要因の一つであると考えられます。



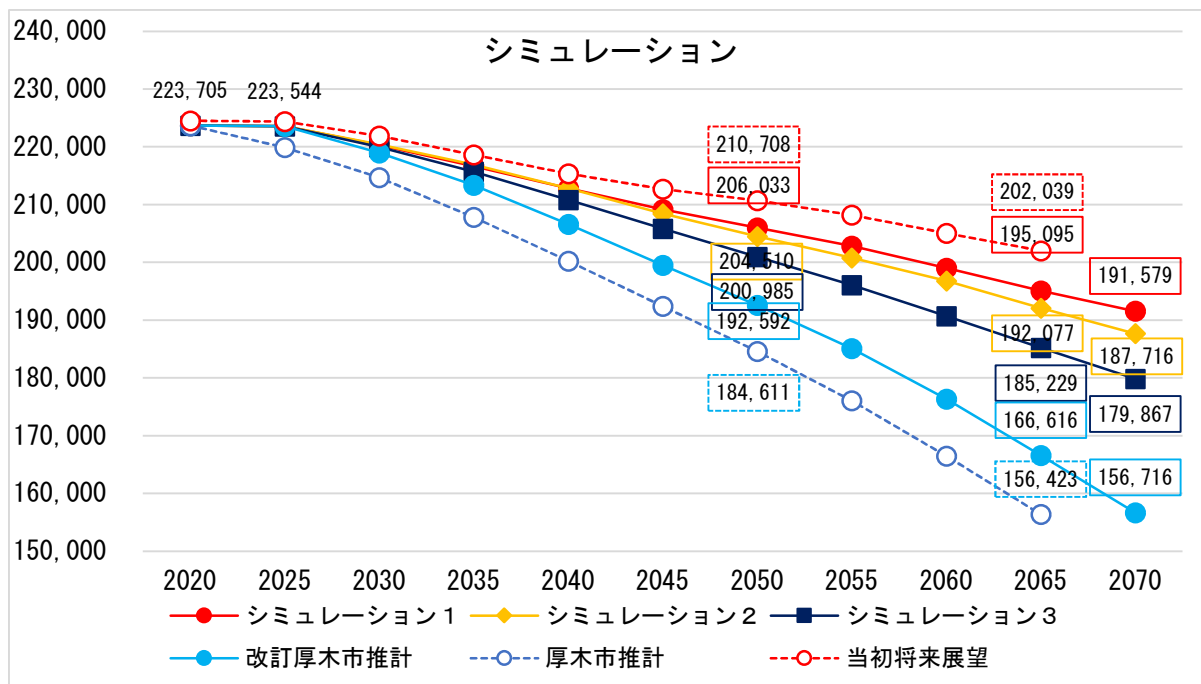
(2) 将来展望シミュレーションについて

将来展望については、当初の本市人口ビジョンにおける将来展望と現状の比較分析を踏まえ、厚木市推計に基づき、自然動態、社会動態のそれぞれについて仮定値を設定し、シミュレーションを行った上、目指すべき将来展望として設定をすることとします。

当初将来展望に比べ、各シミュレーションにおける推計人口の減少率は大きくなっています。当初将来展望では合計特殊出生率の仮定値を2050年までに人口置換水準を達成する高い水準で推計しており、推計の早い段階で年少人口が回復することで減少幅が小さくなっています。

当初将来展望に比べ、2065年ではシミュレーション1で0.7万人、シミュレーション2で1.0万人、シミュレーション3で1.7万人少なくなっています。

今後、第11次総合計画及び総合戦略と整合を図り、将来展望を設定します。



年次		シミュレーション1	シミュレーション2	シミュレーション3	改訂厚木市推計	厚木市推計	当初将来展望
2020	R02	223,705	223,705	223,705	223,705	223,705	224,536
2025	R07	223,544	223,544	223,544	223,544	219,908	224,408
2030	R12	220,291	220,396	219,975	218,983	214,726	221,922
2035	R17	216,633	216,897	215,683	213,375	207,858	218,655
2040	R22	212,821	212,831	210,834	206,628	200,225	215,391
2045	R27	209,166	208,420	205,824	199,535	192,427	212,690
2050	R32	206,033	204,510	200,985	192,592	184,611	210,708
2055	R37	202,829	200,826	196,068	185,119	176,092	208,221
2060	R42	199,051	196,788	190,714	176,388	166,503	205,065
2065	R47	195,095	192,077	185,229	166,616	156,423	202,039
2070	R52	191,579	187,716	179,867	156,716	—	—

6 改訂スケジュール

年月	内容	備考
令和7年4月	・厚木市まち・ひと・しごと創生総合戦略本部幹事会(4/10) ・厚木市まち・ひと・しごと創生総合戦略本部(4/15)	人口推計・将来展望に関する基本的な考え方を検討
4月	経営戦略会議(4/24) ※調整会議は省略	
7月	・厚木市まち・ひと・しごと創生総合戦略本部幹事会 ・厚木市まち・ひと・しごと創生総合戦略本部	人口ビジョン改訂素案について
7月	厚木市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議(外部)	
8月上旬	経営戦略会議	
9月	パブリックコメント	総合計画・総合戦略
10月	・厚木市まち・ひと・しごと創生総合戦略本部幹事会 ・厚木市まち・ひと・しごと創生総合戦略本部	人口ビジョン改訂(案)について
11月上旬	経営戦略会議 ※調整会議は省略	